

会 議 録

1 会議名

平成 28 年度第 5 回新道区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域活動フォーラム開催に係る事例発表候補の推薦について（公開）

(2) 自主的審議につなげるための新道区の現状分析について（公開）

①人口・世帯に関する基礎データ集の説明

②町内会長との情報交換会について

③研修会について

3 開催日時

平成 28 年 9 月 15 日（木）午後 6 時 30 分から午後 7 時 35 分まで

4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：秋山茂（会長）、有泉圭助、浦野憲一（副会長）、金井秀雄

金子八重子、佐藤順治、高橋由美子（副会長）、田中正一

塚田みさ尾、船崎聡、水野恵一郎、森紀文、吉田文男、吉原ゆかり

・事務局：中部まちづくりセンター：山田センター長、野口係長、小林主事

8 発言の内容

【野口係長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務

めることを報告

【秋山会長】

・会議録の確認者：佐藤委員

議題「(1) 地域活動フォーラム開催に係る事例発表候補者の推薦について」、事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.1 により説明

【秋山会長】

今の説明のとおり、12月11日の地域活動フォーラムにおいて事例発表が予定されている。推薦する事業は平成27年度に実施した団体、及び今年度の実施事業の中で12月までに事業完了見込の団体である。今年度の推薦団体については事前配布資料でお知らせしたとおり、皆さんから相応しい事業を選んでいただきたい。

順に多数決にて採決を採るので挙手を願う。

【有泉委員】

事業内容と書いてあるが、団体が書いたものなのか。

【野口係長】

事業内容は提案書の内容を事務局が要約したものだ。

【有泉委員】

実際見たのと、内容が違っている。団体から要約する許可は得ているのか。

【野口係長】

これは他の場面で既に公表されている要約なのだが、改めて確認する必要があるのか、皆さんで諮っていただきたい。

【秋山会長】

有泉委員の意見について、委員に意見を求める。

【浦野副会長】

有泉委員の言われた趣旨が理解できない。平成27年度と28年度に採択した事業を協議会で2つ選択して発表会に備える。その後選ばれた団体に説明をする。最初から全部の団体に説明するのは難しい。

【有泉委員】

そういう意味ではない。各団体に、作った資料を確認してもらってから出すのが常

識ではないのか。意味が違っていたり、変わっていたらどうなのか。

【山田センター長】

この事業内容は提案書の事業計画の文章を、ほぼ活かして要約してある。有泉委員が実際にご覧になった事業と計画の内容とが少し変わったところがあったかもしれないが、基本的には提案書等の内容を活かして要約してあるので、ご理解いただきたい。

【船崎委員】

提案書の全部を見て判断するのは時間的に余裕がないので、要約を見て判断するのが当然だ。決まった発表団体には、詳しく説明すればよいと思う。ここで、いちいち全部見ていたら大変だ。

【秋山会長】

資料No.1で、内容が違うものを記載しているわけではないので、この中から2団体を選んでいただきたい。有泉委員はこれでよいか。

【有泉委員】

私の考えでは、会議に使う時に要約したということ、団体の責任者、提案者にフィードバックするのが常識だ。

【船崎委員】

要約したということを用いるのであれば、今年の活動支援事業の採択のときの資料など、全てがそうだ。

【有泉委員】

その時の資料は、補助金をもらう方の資料だ。

【船崎委員】

当然、これも全部補助金をもらう資料だ。

【有泉委員】

提案団体には、上越市全体に向けたPRする資料になることを言っているのか。

【野口係長】

提案団体には、地域活動支援事業のパンフレットの中で採択された場合には、公表や協力を明記してある。提案されているということは、内諾しているという前提だ。

【秋山会長】

それでは進める。「稲田3丁目サロンお達者会事業」を推薦する方は挙手願う。

(3人挙手)

「既存道具の老朽化に伴う道具の更新と新規道具の購入の事業」を推薦する方は挙手願う。

(2人挙手)

「生活環境保全事業」を推薦する方は挙手願う。

(挙手なし)

「小学生通学道路の安全整備事業（子安新田地内）」を推薦する方は挙手願う。

(4人挙手)

【船崎委員】

No.4 とNo.6 の事業は学校区が違うだけで、同じ内容なので一緒にしたらどうか。

【秋山会長】

内容が同じなので、一緒に考えることとする。

『新道地域からフラダンスで笑顔』に事業」を推薦する方挙手願う。

(1人挙手)

「稲田祇園祭活性化事業」を推薦する方は挙手願う。

(挙手なし)

「町内が元気になるための祭充実事業」を推薦する方は挙手願う。

(挙手なし)

『あずまや』 建立により世代を超えた町内融和を図る事業」を推薦する方は挙手願う。

(2人挙手)

「稲田二丁目神輿渡御活性化事業」を推薦する方は挙手願う。

(挙手なし)

「上島・中々村新田自主防災組織、安全安心対策事業」を推薦する方は挙手願う。

(1人挙手)

「地元のお祭りを山車と太鼓で盛り上げる事業その2」を推薦する方は挙手願う。

(挙手なし)

「新道地区高齢者いきいき支援事業」を推薦する方は挙手願う。

(挙手なし)

「夏祭りの充実を図る事業」を推薦する方は挙手願う。

(挙手なし)

「イーストユニティーズ幼年野球活性化事業」を推薦する方は挙手願う。

(挙手なし)

「稲田3丁目子供会子供神輿渡御活性化事業」を推薦する方は挙手願う。

(挙手なし)

「鴨島2丁目自主防災組織・災害時に即応した環境整備事業」を推薦する方は挙手願う。

(挙手なし)

「富岡若宮八幡宮の夏祭り活性化事業」を推薦する方は挙手願う。

(3人挙手)

「お諏訪さんの大ケヤキと周辺環境整備事業」を推薦する方は挙手願う。

(8人挙手)

多数決の結果、「お諏訪さんの大ケヤキと周辺環境整備事業」が推薦されることになるがよいか。

(「はい」の声)

【吉田委員】

今、1つ選んで、決まった団体に通知をするだろうが、もしそこで断られたらどのように対応するのか。

【野口係長】

新道区として1団体を推薦していただいたが、最終的には全市で挙げた推薦団体を自治・地域振興課で選ばせていただく。新道区の事業が最後の最後まで候補として残ったら、こちらからお願いする運びとなるが、基本的には、パンフレット等で事前に事業協力を求めそれを承知されている前提であるから、お願いが断られることは想定していない。

【秋山会長】

「(2) 自主的審議につなげるための新道区の現状分析について」の「①人口・世帯に関する基礎データ集の説明」に入る。事務局に説明を求める。

【野口係長】

・「人口・世帯に関する基礎データ集」により説明

【秋山会長】

今の説明に意見、感想、質疑等を求める。

【有泉委員】

非常に良いデータだと思い、感心した。新道区は人口が増えているのは変だと感じていた。住宅開発が終われば人口も減少するはずで、誰もが心配している将来人口の推計をこのようにまとめてくれて理解ができた。

【船崎委員】

このデータでいうと、人口増加はあるが、アパートが増えているだけだ。新道区としては子どもをこれからどうやって育てていくかが、一番大切になってくると思う。小学校も1つに統合される可能性も出てくるので、そこら辺も皆さんと考えていきたい。

【秋山会長】

他に意見がないようなので、このデータを今後の自主審議に役立てていきたいと思う。

次の「②町内会長との情報交換について」に入る。先回の会議で自主審議のテーマとなる情報の多くは町内会長に集約されているとのことだった。そこで、正副会長と事務局で協議した結果、地域住民との意見交換の位置づけで、新道地区町内会長協議会との情報交換を皆さんに提案したいと考える。この町内会長協議会との意見交換は昨年度も行っており、先方からも継続して実施して欲しいとの要望も踏まえたものである。事務局に説明を求める。

【野口係長】

・資料No.2により説明

【秋山会長】

今の説明に質疑を求めたがないようなので、地域住民との情報交換は、新道地区町内会長協議会の町内会長の皆さんとの情報交換会として、分科会方式で実施するということでよいか。

(「はい」の声)

次に「③研修会について」、前回の会議の内容を振り返ると、高齢者、空き家の問題提起や、PTA 各種団体との座談会、講師から来てもらうとの意見が挙げられた。正副会長と事務局で検討した結果、初年度だからこそ会議の進め方について学び、円滑で中身のある協議ができるように、講師派遣による研修をしたらよいと考え、事務局の説明を以って我々の提案に代える。事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・資料No.3 により説明

【秋山会長】

今の提案説明について質疑を求める。

【船崎委員】

今の提案で良いと思うが、言いたいことを言って、意思の疎通を図っていく手法で進められている。それに対してどうするのかということだが、ストレスのないような会議を学ぶということなので、それでよいと思う。

【秋山会長】

他に質疑を求めたがないようなので、講師派遣による研修会としてよいか。

(「はい」の声)

では、今後相手方と調整し、決まり次第お伝えする。

最後に「(3) 今年度のスケジュール」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・資料No.4 により説明

【秋山会長】

今の説明に質疑を求めたがないようなので、「3 その他」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・次回の開催日について説明

【秋山会長】

- ・次回の協議会：10月20日（木）午後6時30分から 新道地区公民館
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。